

1 事業名等(Plan 1)

事業名	農業後継者等育成事業											
所属名	農政部 農務課 農業振興グループ											
第七次総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	分野	2	農業	基本施策	1	個性ある農業生産地づくりを行う	施策	5	あらたな担い手の確保
予算科目	5	1	3	農業振興	費	51327	農業後継者育成事業補助金					事業
					費							事業
					費							事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市農業振興事業補助金交付要綱											
事業の実施主体	市 市以外→高山4Hクラブ、市農業士会、高山地区フレッシュミズの会、海外派遣研修者											
事業の実施方法	直営 指定管理 業務委託 <input type="radio"/> 団体等補助 <input type="radio"/> その他→新規就農者等補助											

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	農業後継者	受益者数	164 人
	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	高齢化、後継者不足による農業就業者数の減少、耕作放棄地の増加に歯止めをかける。		
概要	事業の実施手法、手順	青年・女性農業者の育成につながる事業を行う組織、青年・女性の海外派遣研修者に対し、補助金を交付する。		
	事業始期・終期	始期	年度から	終期
			年度まで	設定なし <input type="radio"/>
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
財源	総合計画計画額(当初)	3,300	3,300	2,840	2,800	2,800
	総合計画計画額(計画額)	3,000	3,000	2,840	2,800	2,800
	事業費	2,840	2,840	2,840		
	(計画・予算・見込・決算額)	1,739	1,580			
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	繰入					
	一般財源	2,840	2,840	2,840		
決算・見込	1,739	1,580				
H17国勢調査	96,231 人 32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価				
コスト	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位	%			
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位	円/人	18	16	
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位	円/世帯	54	49	
指標	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位	円/人	10,604	9,634	
	その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位	円/人			

【成果面】

活動・成果指標	活動指標	投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標	指標名	組織所属人数	資料・出展算出式	所属人数	単位	人
	成果指標	活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標	指標名	海外派遣研修者数	資料・出展算出式	研修者数	単位	人

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	(現状及び判定理由)	高齢化や後継者不足などにより農業就業者が減少するとともに、耕作放棄地が増加する中、今後の農業を担う青年・女性農業者の連携強化、資質向上を支援することは、高山市の農業の魅力を向上させ、新規就農者の確保につながるものと期待する。			A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	目的評価 A
②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	(判定理由)	事業費に大きな変動がない。			減少 維持 1 増加	③成果面 拡大 維持 減少
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	(判定理由)	対象組織の加入者数、海外派遣研修者数の大幅な変動は見られない。			拡大 維持 1 減少	コスト・成果ポジション E 第3水準

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点

さらなる新規就農者の確保、育成支援が必要。そのために、就農移住者の研修受け入れや農業後継者の育成指導を行う指導農業士(会)の活動強化を図る必要がある。
一方、市農業士会の構成員、活動がJA青年部高山地区・丹生川地区と重複しており、交付先としてあいまいなものとなっている。

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/>
活動の方針	農業後継者及び青年農業士に対する育成指導を行う指導農業士(会)の役割は非常に大きい。その活動に対する助成がない。有意義な活動を展開するために指導農業士会の活動費助成が必要。 市農業士会について、組織のあり方を含めて検討が必要。
次年度の実施方針	指導農業士会への活動費補助の開始。 市農業士会の組織の見直し。

一次評価 主管課	III
判断の理由	さらなる新規就農者の確保、育成支援が必要。

総合評価	中 低 IV
「III」以上の水準に向けた改善が必要	農業後継者の育成という面では、一定の成果はあるものの、後継者の拡大(新規就農者の確保)という面では主だった成果が見られない。そのため、本事業の効果検証を行い、制度の改定を含め検討していく必要がある。